

予備自衛官補に辞令書を交付



代表者に対する辞令書交付



代表者によるサービスの宣誓



参加者に対する本部長訓示



予備自衛官補制度説明

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、7月1日（土）、本部庁舎において「予備自衛官補辞令書交付式」を実施し、同日付で新たに予備自衛官補に採用された47名に対する辞令書交付を行った。式では、辞令書交付のほか、サービスの宣誓や予備自衛官補の制度説明などが行われ、参加者たちは自衛隊員としての認識を新たにしている様子であった。松田本部長は、「我が国を取り巻く安全・安全保障環境は厳しさを増すとともに、大規模災害発生の蓋然性は高まっている。予備自衛官補としての教育訓練招集を通じ、国民の安心・安全がどのように守られているかを肌で感じ、予備自衛官補の任務を全うしてもらいたい」と訓示し、参加者たちを激励した。神奈川地本においては、毎年、約30名が予備自衛官補から予備自衛官に任命されており、予備自衛官補採用者は予備自衛官の勢力拡大の重要な推進力と位置付け、「今後も予備自衛官補の活動を全面的に支援していく」としている。

7月1日募集開始！斬新！デジタルサイネージでPR

自衛官募集のデジタルサイネージに
目を向ける通行人

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、7月1日より小田急海老名駅自由通路において、デジタルサイネージによる募集広報を新たに開始した。同企画は、海老名市駅周辺対策課の協力により実現したもので、駅西口通路から大型商業施設を結ぶ通路上の「動く歩道」頭上に設置された計16個のディスプレイを活用し募集情報をPRするものである。この通路は、通学利用者をはじめ、買い物等に訪れる多くの若者が通行するため、従来のポスター以上に多大な広報効果が期待できる。

厚木募集案内所は、「今後も市町村と連携し、1人でも多くの若者にリアルタイムな募集情報の発信ができるよう活動していく」としている。